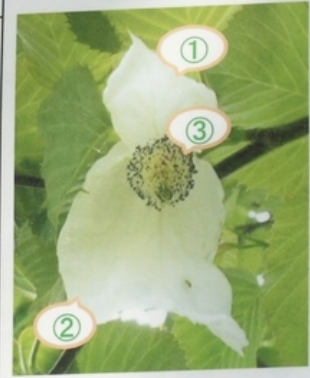


ハンカチノキ

学名	Davidia involucrata Baill(ダビディア科ダビディア属)
和名	ハンカチノキ(落葉高木)
俗称	ハトノキ(鳩の木) ユウレイノキ(幽霊の木)
特徴	中国の四川省・雲南省付近原産。 大型の2枚の苞(ほう)に抱かれるような形で開花します。 ハンカチに見立てられるのは、この2枚の大きな苞です。 樹形も美しく樹皮は縦に薄く剥がれてとても綺麗です。
花・苞(ほう)	花弁は無く、雄花と雌花が直径2cmの球形をつくり、 大型の2枚の苞に抱かれるような形で開花します。 苞は葉が変形したもので上部①は卵型で約5~7cm、 下部②は倒長卵型で約15cm。
開花	4月下旬~5月上旬 初期の苞は淡黄緑で、開花が進むと白く大きくなります。 この時期ミツバチ類が盛んに訪れます。
果実	③7月中旬ごろ長さ3~4cmの緑色卵状楕円形状になり、 長さ7~8cmの長い柄の先端にぶら下がります。 中に3~5個の種子がはいっています。



作品番号 : 41400706

作品タイトル : ハンカチノキ・花

作家 : 松山 睦

キャプション :

コレクション : OPO

ソース :

撮影地 : 埼玉県 狭山

撮影年月日 : 2014年4月

学術名 :

クレジット表記 : (c)OPO / Artefactory

モデルリリース : なし

プロパティリリース : なし

ピクセル数 : 4215px × 2810px

印刷サイズ : 30.6cm × 20.4cm

データサイズ : 6.2MByte

ファイル形式 : JPEG